

長谷川彰宏 (Akihiro Hasegawa)

1997年、三重県生まれ。現在は東京を拠点に活動する現代アーティスト。
天台宗系の寺院に生まれ、2009年に得度し、2019年に天台真盛宗 西教寺にて四度加行満行。2016年に現役で東京藝術大学デザイン科に入学。2024年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了。

感情、思想、身体、そして生命の存在に対して俯瞰した視点を持つ長谷川の作品群は、彼の根幹をなす仏教思想から得た独自の姿勢が垣間見え、死生観や人間の存在そのものを問いかけてきます。幼少期から“光”に視覚的にも思想的にも強く惹かれてきたという長谷川は、その原体験を作品に落とし込んで表現しています。

クマ財団第5期生に選出され、「KUMA EXHIBITION 2022」に出展し、同年初個展「よもぎとコンプ」(√K Contemporary, 東京)を開催。以降、「Meet Your Art Festival 2023『Time to Change』」、「VOCA展2025」(上野の森美術館)、ハイジュエリーブランドChaumetの展示会「THE ART OF COLOUR」(2025年 東京)、沓名美和キュレーションによるグループ展「再生と未来」(2025年 ASTER Curator Museum、金沢)など数々の展示に出展。2024年には√K Contemporary (東京)にて大規模個展「長谷川彰宏展」を開催し、同年にNanjo Selection 第6弾としてN&A Art SITE (東京)にて個展「無量光」を開催。今後が期待される若手アーティストの一人として大きな注目を集め、その活動の場を広げています。



IG | @akihiro_hasegawa_jp

[個展]

- 2022 「よもぎとコンプ」√K Contemporary (東京)
- 2023 「Luminescence」銀座 蔦屋書店 (東京)
- 2024 長谷川彰宏展 √K Contemporary (東京)
Nanjo Selection vol.6 長谷川彰宏『無量光』N&A Art SITE (東京)

[グループ展]

- 2017 「[SICF18](#) (第18回 スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)」スパイラルホール、スパイラルガーデン、MINA-TO (東京)
- 2018 「和田アキ子 ART HOBBY EXPO」西武渋谷店 (東京)
「平成の置き土産～平成生まれの私たちがこの時代に遺したいもの～」100creators (東京)
- 2019 「SHIBUYA STYLE vol.13」西武渋谷店 (東京)
「[室戸自然の家](#)」国立室戸青少年自然の家 (高知) ライブペインティング
- 2020 「DEPARTURE 2020」東京藝術大学 デザイン科 代官山 蔦屋書店 (東京)
- 2022 「[KUMA EXHIBITION 2022](#)」公益財団法人クマ財団 (東京)
- 2023 「Meet Your Art Festival 2023『Time to Change』」
- 2024 「RE:FACTORY_2」WALL_alternative (東京)
- 2025 「THE ART OF COLOUR」Chaumet (東京)
「再生と未来」Aster Curator Museum (金沢) (キュレーション：沓名美和)

[賞歴]

- 2017 「藝大アーツイン丸の内 GAM賞」受賞
- 2021 「公益財団法人クマ財団 5期生」採択

[その他]

- 2017 「藝大アーツイン丸の内2017」東京藝術大学 三菱地所株式会社 (丸の内) ライブペインティング
- 2018 「dusty car (ホコリをかぶった愛車)」株式会社NTTドコモ (外神田) 担当
「丸の内 15丁目 プロジェクト」(丸の内) ライブペインティング
「藝大アーツイン丸の内2018」東京藝術大学 三菱地所株式会社 (丸の内) ライブペインティング
- 2019 「MOV祭」渋谷ヒカリエ ライブペインティング
椎名林檎MV 「鶏と蛇と豚」 Snake Tank デザイン案
- 2021 「[いまここで、よく生きる](#)」高木健作 x 丸LT MORIO Gallery (南青山) 展示会運営 / 作品制作

[書籍]

『若者のための死の教科書』中川瑛 下山明彦 長谷川彰宏 前田陽汰 (著) 2022年 青文舎刊